

2019年10月21日 全8頁

Indicators Update

2019年9月貿易統計

輸出数量は低調な推移が続き、7-9月期の外需はマイナス寄与へ

経済調査部
エコノミスト 鈴木 雄太郎
シニアエコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲5.2%と10ヶ月連続で減少し、コンセンサス（同▲3.6%）も下回った。輸入金額も同▲1.5%と減少したものの、貿易収支は▲1,230億円と3ヶ月連続で赤字となった。
- 9月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.5%と2ヶ月連続で減少した。輸出数量は下げ止まりの兆しが見られるが、持ち直しまで至る力強さはない。輸出数量を地域別に見ると、アジア向け（同+4.1%）が増加したものの、米国向け（同▲2.3%）、EU向け（同▲2.3%）が減少した。
- 先行きの輸出数量は、地域ごとに濃淡はあるものの、総じてみると世界経済減速の影響を受けて力強さを欠く動きが続くとみている。中国向けやアジア向けは中国経済の減速を受け、弱い動きが続くものの、米国向けは底堅く推移するだろう。また、EU向けは自動車輸出が全体を下支えするとみられるが、全体では横ばい圏で推移するだろう。

図表1：貿易統計の概況

		2019年								
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲8.4	▲1.2	▲2.4	▲2.4	▲7.8	▲6.6	▲1.5	▲8.2	▲5.2
	コンセンサス									▲3.6
	DIRエコノミスト予想									▲2.5
	輸入金額	▲0.8	▲6.5	1.2	6.5	▲1.4	▲5.2	▲1.1	▲11.9	▲1.5
	輸出数量	▲9.0	▲0.6	▲5.6	▲4.3	▲8.9	▲5.5	1.6	▲6.0	▲2.3
	価格	0.7	▲0.6	3.4	2.0	1.2	▲1.2	▲3.1	▲2.4	▲2.9
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	0.5	▲6.5	0.4	4.1	▲1.2	▲3.2	6.7	▲6.1	6.8
	価格	▲1.4	▲0.0	0.8	2.3	▲0.2	▲2.0	▲7.3	▲6.2	▲7.8
	貿易収支(億円)	▲14,177	3,316	5,227	535	▲9,702	5,875	▲2,523	▲1,435	▲1,230
	輸出金額	▲6.6	6.4	▲1.1	0.2	▲5.0	5.0	▲0.3	▲2.7	1.4
	数量	▲4.4	6.0	▲1.9	2.6	▲7.7	5.8	1.5	▲4.6	▲0.5
	価格	▲2.3	0.4	0.7	▲2.4	2.9	▲0.8	▲1.8	2.0	1.9
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	▲4.9	1.4	2.0	▲0.5	0.7	▲2.6	1.2	▲2.9	1.1
	数量	▲0.8	▲2.0	1.4	1.9	3.1	▲6.9	7.8	▲6.2	3.7
	価格	▲4.2	3.5	0.6	▲2.4	▲2.3	4.6	▲6.1	3.5	▲2.6
	貿易収支(億円)	▲2,914	183	▲1,877	▲1,410	▲5,194	▲311	▲1,340	▲1,167	▲972
	税関長公示レート	109.47	109.66	111.16	111.18	111.07	109.05	108.00	107.21	106.69

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

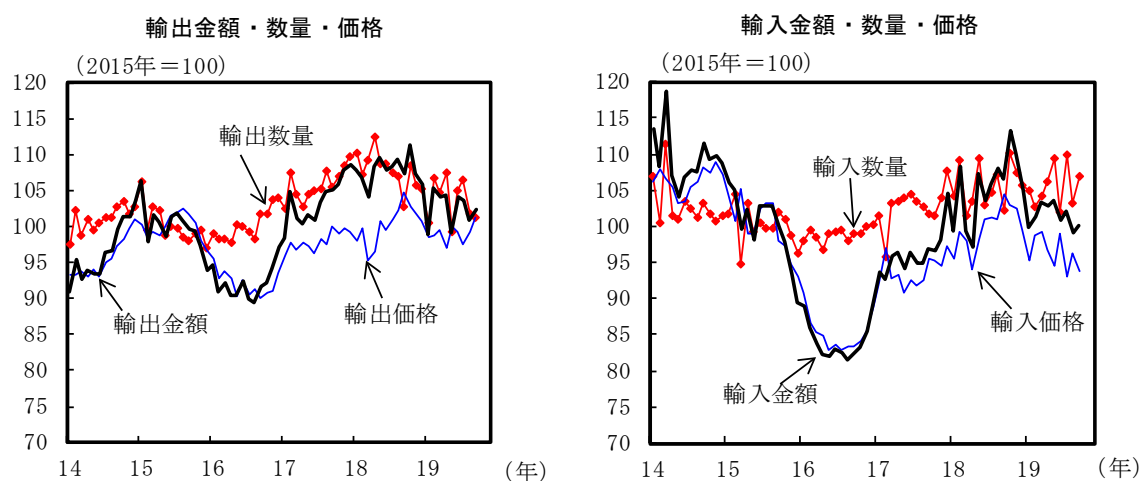
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

【輸出金額】7-9月期の外需はマイナス寄与へ

9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲5.2%と10ヶ月連続で減少し、コンセンサス(同▲3.6%)も下回った。輸入金額も同▲1.5%と減少したものの、貿易収支は▲1,230億円と3ヶ月連続で赤字となった。

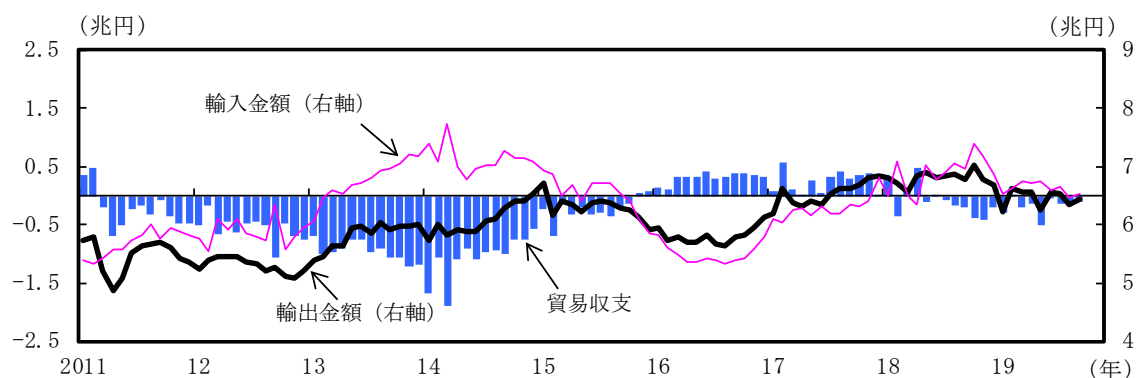
季節調整値で見ると、輸出金額は前月比+1.4%と3ヶ月ぶりに増加した(図表2左)。また、輸入金額は同+1.1%と2ヶ月ぶりに増加した。内訳を見ると、輸入数量(大和総研による季節調整値)が同+3.7%と増加しており、10月の消費増税前の駆け込み需要を見据えた動きがあったとみられる。その結果、貿易収支は▲972億円と7ヶ月連続で赤字となった。7-9月期のGDP統計における外需は2四半期連続でマイナス寄与となる見込みだ。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格(季節調整値)



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表3：輸出金額、輸入金額、貿易収支(季節調整値)



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】これまで下支えしていた EU 向け、米国向けに陰りが見られる

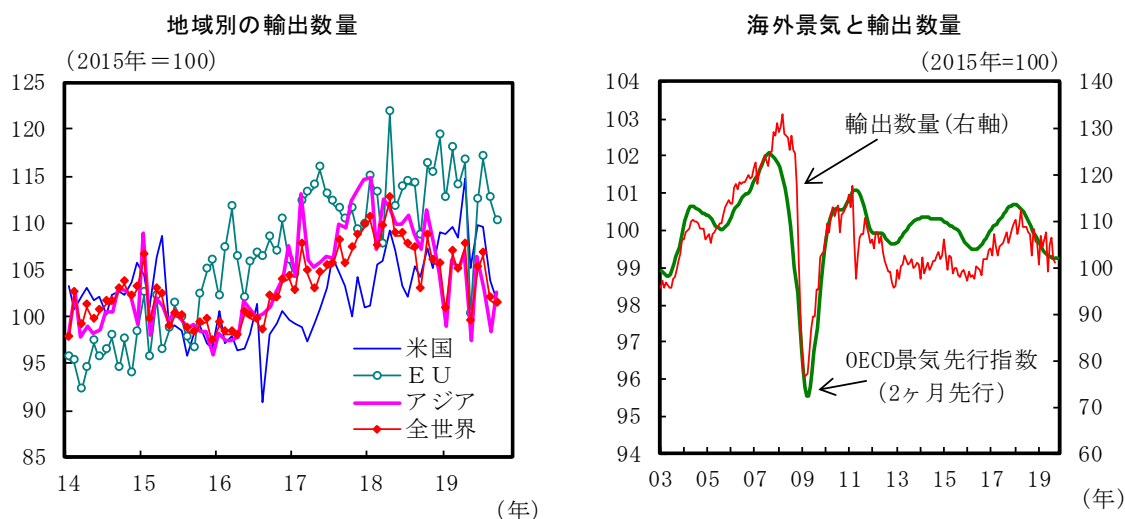
9月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.5%と2ヶ月連続で低下した。地域別に見ると、アジア向け（同+4.1%）は増加したものの、米国向け（同▲2.3%）、EU向け（同▲2.3%）が減少し、全体を押し下げた。輸出数量は下げ止まりつつあるものの、これまで全体を下支えしていたEU向けや米国向けの輸出数量は足下で弱さが見られており、先行きには警戒が必要だ。

米国向けは均すと横ばい圏で推移していたが、このところ弱さが見られる。概況品別に9月の動きを見ると、半導体等製造装置が低下に寄与した。また、乗用車もマイナスに寄与している。半導体等製造装置は18年末から6月までは増加基調をたどっていたが、7月以降減少に転じ、年初の水準まで低下している。輸出額の大きい乗用車も減少基調が続いている。

EU向けは依然高水準にあるものの、2ヶ月連続で低下した。9月の動きを概況品別に見ると、鉄鋼や乗用車が全体を押し下げた。鉄鋼は8月に大幅に増加しており、その反動とみられる。乗用車は環境規制対応のため、2018年以降堅調に推移していたが、足下では伸びが鈍化している。

アジア向けは単月では上昇したものの、中国経済の減速を背景に、低水準での推移が続いている。9月の動きを概況品別に見ると、乗用車や自動車の部分品、鉄鋼などが増加に寄与した。乗用車は前月に大幅に減少しており、その反動によるものとみられ、均して見れば横ばい圏で推移している。また、9月の中国向けに関しては、一般機械や自動車の部分品などが減少に寄与している。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【トピック】韓国向け輸出は幅広い品目で大幅減

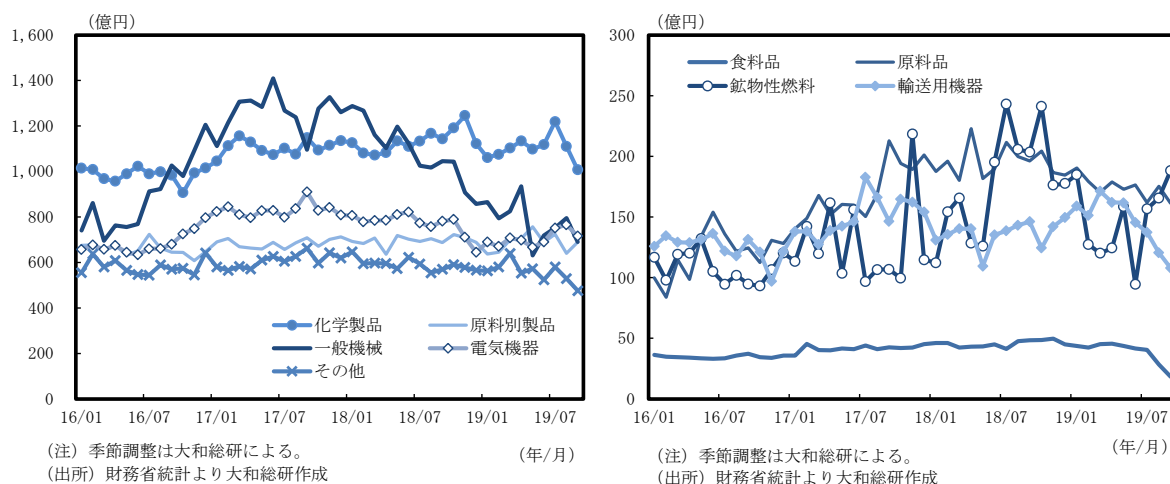
韓国向けの輸出に関して、日本は7月4日以降、レジスト、フッ化水素、フッ化ポリイミドの3品目の輸出管理の強化を行っている。これに伴い、個別取引ごとに申請し許可を得る方式に変更となり、従来と比べ輸出審査に時間を要するようになった。また8月2日、日本政府は韓国を優遇対象国から除外する政令改正を閣議決定し、28日に施行した。

9月の韓国向け輸出金額は前年比▲15.9%と大幅に減少した。また季節調整値（季節調整は大和総研による）で見ても前月比▲6.1%と2ヶ月連続で減少した。8月28日以降は食料品や木材などを除く多くの品目で個別許可が必要になっており、その影響が出たものとみられる。

概況品別に見ると、一般機械（前月比▲13.1%）や電気機器（同▲6.5%）、輸送用機械（同▲10.4%）など機械類の減少が目立つ。また、個別許可の対象外である食料品に関しても、同▲35.3%と2ヶ月連続で30%を超える減少となっている。日本製品の不買運動の影響が出ている可能性がある。

先に輸出管理の強化を行った上述のフッ化水素などの3品目を含む、有機化合物の輸出は前月比▲5.8%と減少が続いている。一部報道では、レジストの許可は8月上旬以降に順次行われている一方、フッ化水素に関しては、8月30日に初めて輸出許可が出ている。輸出は再開されているものの、輸出量は元の水準にまで戻っていない可能性がある。詳細な結果は10月30日の確報で公表予定であり、上述の3品目の動向に注目したい。

図表5：韓国向け輸出金額の推移（季節調整値）



【見通し】輸出数量は力強さを欠く動きが続く

先行きの輸出数量は、地域ごとに濃淡はあるものの、総じてみると世界経済減速の影響を受けて力強さを欠く動きが続くとみている。

中国向けやアジア向けは弱い動きが続くとみている。中国でも景気減速が顕著である。2019年7-9月期の実質GDPは前年比+6.0%と、4-6月期（同+6.2%）からさらに減速した¹。2018年1-3月期をピークに減速が続いており、足下でもその動きに歯止めがかかっていない。特に2019年に入り内需の伸び悩みが顕著である。中国政府は減税策やインフラ投資のための地方政府特別債券の発行などテコ入れに動いているが、現時点ではその成果は現れていない。また、中国の公共投資が増加したとしても、日本の輸出への押し上げ効果は建設機械など一部の製品や業種に限られる可能性がある点には留意したい。米中貿易摩擦に関して、10月10日、11日に開催された米中閣僚協議を経て、10月15日に予定されていた追加関税（中国から輸入される年間2,500億ドル相当の品目に対する現行の25%から30%へと、追加関税率を5%pt引き上げる措置）は見送られた。米中両政府が部分合意に達したことは好材料である。ただし、今回の部分合意はあくまでも追加関税の先送りにすぎない。今後の交渉次第では、再び追加関税を発動する可能性は十分残されており、引き続き注視していく必要がある。

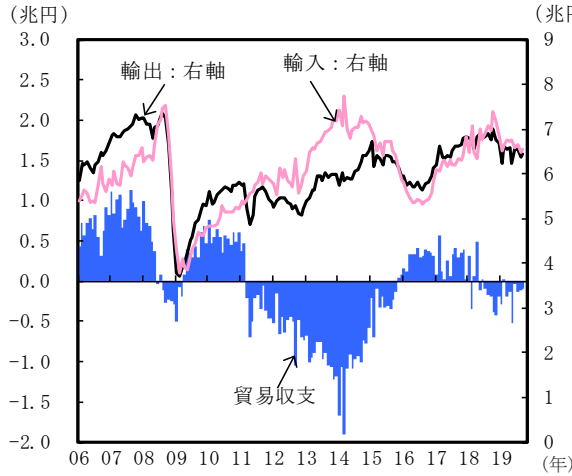
他方、欧州向けにおいては自動車輸出が全体を下支えするとみられるが、全体では横ばい圏で推移するだろう。自動車に関しては、EUでは乗用車のCO₂排出量を2021年までに平均95g/kmとする規制が実施されている。CO₂排出量の実績値を見ると、足下では、現地メーカーの車種の多くはこの基準を依然満たしておらず、基準を満たした日本車の輸出が増加している模様だ。このことは今後も下支えの材料となろう。他方、ドイツや英国は2018年半ばごろから景気減速が鮮明となっている。足下でもこの傾向は続いており、自動車以外の品目に関しては、弱い動きが続くとみられる。

米国向けは底堅く推移するだろう。2018年の米国経済は減税効果によって加速していたが、その影響は既に剥落し始めている。一方で個人消費は底堅く、加えてFRBは金融緩和姿勢を強めており、減速は緩やかなものにとどまるとみている。また今後、財政出動が行われることとなれば、米国向けの輸出は持ち直しの動きが見られることとなろう。

¹ 詳細は齋藤尚登「[減速続く中国経済、19年7～9月は6.0%成長](#)」（2019年10月18日、大和総研レポート）を参照。

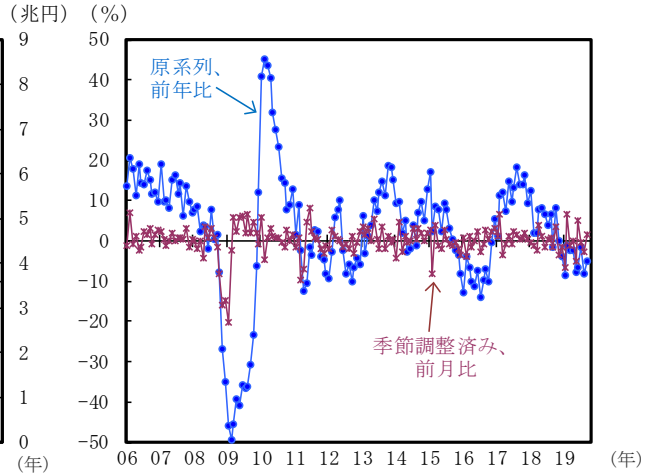
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

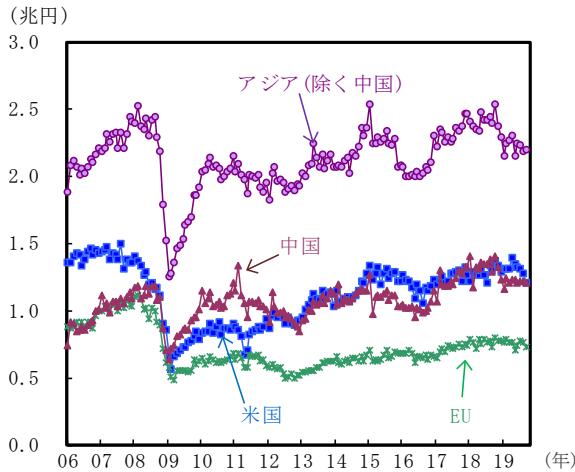


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

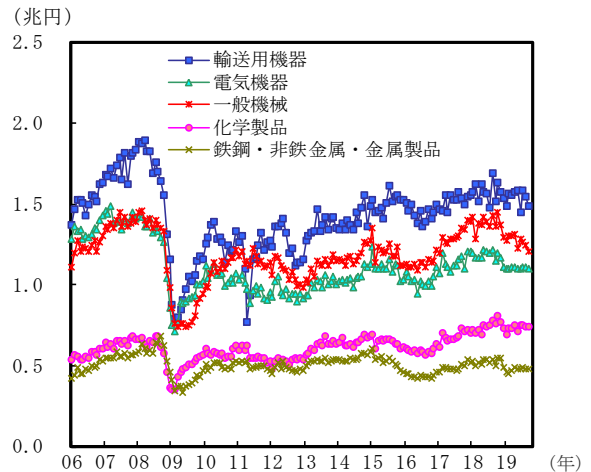


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

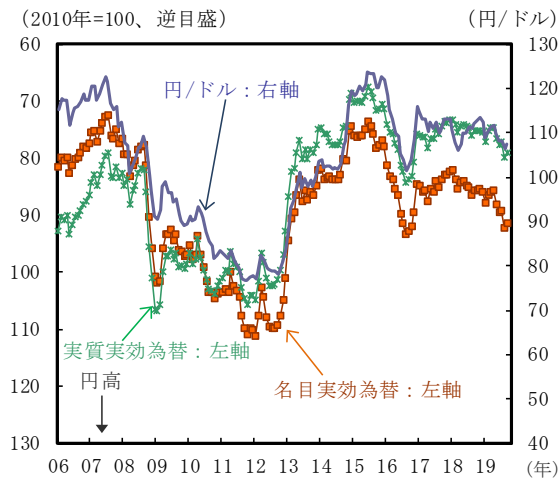


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

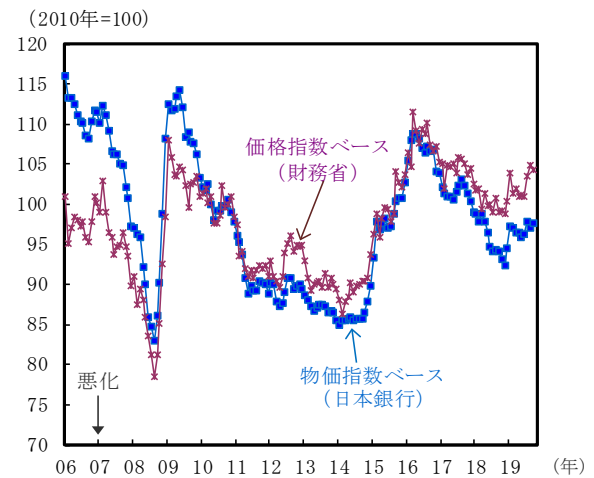


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2019/04	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.4	▲7.8	▲6.6	▲1.5	▲8.2	▲5.2	100.0	▲5.2
食料品	6.1	▲8.9	7.9	4.9	▲3.5	▲5.3	0.9	▲0.0
原料品	▲0.2	▲8.0	▲11.7	▲13.5	▲12.2	▲10.9	1.3	▲0.1
鉱物性燃料	12.1	20.7	7.1	0.2	▲6.2	▲16.9	1.8	▲0.4
化学製品	9.1	▲5.2	1.5	▲0.1	▲5.1	▲2.1	11.1	▲0.2
原料別製品	▲0.7	▲10.1	▲8.6	▲5.1	▲11.0	▲3.8	11.0	▲0.4
鉄鋼	▲2.5	▲8.7	▲11.6	▲4.1	▲13.6	▲0.4	4.1	▲0.0
非鉄金属	▲7.1	▲18.4	▲11.7	▲10.7	▲10.0	▲2.7	1.8	▲0.0
金属製品	1.1	▲6.9	▲8.3	▲6.4	▲8.5	▲9.0	1.5	▲0.1
一般機械	▲4.1	▲13.1	▲8.0	▲7.2	▲12.3	▲11.2	18.6	▲2.2
電気機器	▲4.6	▲9.9	▲9.2	▲7.3	▲8.1	▲4.7	18.0	▲0.8
半導体等電子部品	▲5.7	▲3.9	▲7.9	▲7.8	▲2.7	4.0	5.7	0.2
I C	▲7.5	0.5	▲8.0	▲7.1	▲0.5	9.1	4.2	0.3
映像機器	▲6.9	▲21.4	▲24.5	▲5.6	▲5.3			
映像記録・再生機器	▲13.8	▲23.5	▲32.8	▲12.1	▲8.2	▲14.8	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲1.1	▲22.2	36.0	▲12.7	▲10.5	▲15.1	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	▲6.7	▲11.0	▲11.9	▲9.0	▲14.5	▲12.8	2.5	▲0.3
輸送用機器	▲2.8	1.2	▲7.6	7.7	▲8.2	▲2.7	23.5	▲0.6
自動車	▲0.7	3.5	▲0.7	9.2	▲7.2	▲1.8	15.5	▲0.3
自動車の部分品	▲4.1	▲11.8	▲14.1	▲10.7	▲13.6	▲14.7	4.7	▲0.8
その他	▲9.1	▲14.5	▲5.9	2.0	▲2.0	▲2.3	13.8	▲0.3
科学光学機器	▲3.1	▲12.2	▲5.9	▲8.0	▲7.4	▲10.9	2.8	▲0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2019/04	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.6	3.3	4.9	8.4	▲4.4	▲7.9	100.0	▲7.9
食料品	18.3	▲2.4	10.1	11.8	▲5.3	0.9	0.7	0.0
原料品	38.5	▲5.6	4.7	16.1	▲22.7	28.4	0.6	0.1
鉱物性燃料	153.6	213.8	▲41.1	40.2	9.6	157.2	0.6	0.3
化学製品	32.4	▲0.7	17.7	▲1.2	4.9	0.2	6.8	0.0
原料別製品	10.3	▲4.0	▲3.9	1.8	▲7.1	▲2.0	6.6	▲0.1
鉄鋼	▲7.5	▲22.6	▲18.6	12.3	▲2.9	13.3	1.3	0.1
非鉄金属	53.7	▲2.0	8.9	3.7	▲2.8	21.0	0.9	0.1
金属製品	12.2	8.7	2.8	▲5.5	▲7.9	▲11.8	1.6	▲0.2
一般機械	16.7	7.7	16.1	16.3	1.3	▲5.9	23.4	▲1.4
電気機器	▲4.7	▲7.6	▲5.8	▲1.2	▲8.8	▲7.7	14.1	▲1.1
半導体等電子部品	▲3.7	▲6.3	▲7.2	▲15.4	▲12.6	▲11.1	1.5	▲0.2
I C	▲1.7	▲12.2	▲9.1	▲14.2	▲15.1	▲16.6	0.7	▲0.1
映像機器	14.1	▲12.8	▲24.5	16.8	13.6			
映像記録・再生機器	0.5	▲6.8	▲37.5	7.7	7.5	▲11.6	0.8	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲14.8	▲4.3	349.1	▲15.3	55.1	▲7.5	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	2.0	▲3.0	▲0.0	5.3	▲3.5	▲10.3	1.4	▲0.2
輸送用機器	7.5	5.3	1.3	2.6	▲11.7	▲14.7	35.9	▲5.7
自動車	8.3	9.9	4.3	1.5	▲13.0	▲15.6	26.9	▲4.6
自動車の部分品	▲5.2	▲8.5	▲9.2	1.1	▲11.9	▲16.2	5.6	▲1.0
その他	▲0.7	▲0.6	9.6	36.6	9.0	▲0.8	11.4	▲0.1
科学光学機器	4.6	1.1	9.1	6.1	18.3	2.7	2.5	0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2019/04	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.6	▲7.1	▲6.7	2.2	▲1.3	▲0.4	100.0	▲0.4
食料品	20.0	10.1	34.4	6.3	8.9	24.0	0.4	0.1
原料品	▲13.3	40.9	▲9.2	▲11.0	0.2	▲14.2	0.8	▲0.1
鉱物性燃料	7.3	61.1	▲47.7	20.7	▲31.6	12.1	0.6	0.1
化学製品	4.2	▲11.2	2.6	▲10.4	▲3.8	5.8	10.3	0.6
原料別製品	0.1	▲17.1	▲6.7	▲15.7	▲5.2	▲5.8	6.1	▲0.4
鉄鋼	2.3	▲16.4	▲18.4	▲30.0	10.7	4.2	0.9	0.0
非鉄金属	▲22.2	▲29.1	6.0	▲31.9	▲13.6	▲9.5	0.8	▲0.1
金属製品	14.1	▲3.5	3.2	▲2.6	3.7	▲5.8	1.4	▲0.1
一般機械	0.3	▲5.2	▲9.5	▲7.9	▲12.4	▲15.1	21.1	▲3.7
電気機器	▲1.4	▲8.5	▲10.9	▲8.8	▲6.7	▲7.6	17.0	▲1.4
半導体等電子部品	▲9.9	▲17.0	▲14.3	▲14.5	▲14.7	▲11.4	2.0	▲0.3
I C	▲21.8	▲25.3	▲23.6	▲25.3	▲28.3	▲17.6	0.9	▲0.2
映像機器	▲6.1	▲0.2	▲31.7	▲15.0	▲10.6			
映像記録・再生機器	▲5.5	2.1	▲29.6	▲17.3	1.0	▲17.9	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲20.9	▲2.4	3.7	3.9	1.0	34.2	0.2	0.1
電気回路等の機器	▲7.1	▲18.9	▲17.4	▲15.4	▲14.5	▲15.7	1.5	▲0.3
輸送用機器	▲6.2	▲3.5	▲12.2	34.6	0.9	21.3	27.4	4.8
自動車	7.9	3.5	21.0	50.4	10.3	41.5	18.3	5.3
自動車の部分品	4.2	▲8.2	▲2.4	2.2	▲2.6	▲4.9	6.3	▲0.3
その他	▲7.3	▲13.5	9.4	▲0.5	23.5	▲2.0	16.3	▲0.3
科学光学機器	8.1	▲12.5	2.7	▲0.7	7.0	▲4.1	3.3	▲0.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2019/04	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲3.3	▲12.1	▲8.2	▲8.3	▲10.9	▲7.8	100.0	▲7.8
食料品	4.0	▲9.3	6.1	3.2	▲3.2	▲8.4	1.3	▲0.1
原料品	▲1.2	▲12.6	▲13.3	▲17.4	▲12.4	▲15.0	1.8	▲0.3
鉱物性燃料	▲7.3	▲19.8	▲25.0	▲16.3	3.3	▲33.0	1.5	▲0.7
化学製品	5.7	▲4.6	▲1.3	1.0	▲7.3	▲4.0	15.0	▲0.6
原料別製品	▲5.1	▲10.7	▲10.0	▲9.1	▲13.9	▲7.3	13.8	▲1.0
鉄鋼	▲5.9	▲7.0	▲10.9	▲11.4	▲19.7	▲7.9	5.6	▲0.4
非鉄金属	▲11.2	▲19.0	▲14.5	▲10.4	▲12.0	▲7.3	2.7	▲0.2
金属製品	▲4.2	▲9.7	▲11.6	▲8.6	▲7.1	▲7.4	1.7	▲0.1
一般機械	▲10.8	▲21.5	▲14.5	▲13.8	▲16.8	▲12.9	18.4	▲2.5
電気機器	▲5.4	▲10.3	▲9.5	▲9.2	▲8.0	▲4.1	23.0	▲0.9
半導体等電子部品	▲5.5	▲2.7	▲7.5	▲6.8	▲1.6	5.9	9.6	0.5
I C	▲7.2	2.2	▲7.3	▲6.2	1.0	11.2	7.2	0.7
映像機器	▲25.5	▲35.4	▲26.1	▲23.8	▲25.6			
映像記録・再生機器	▲30.5	▲41.0	▲32.8	▲22.6	▲20.9	▲17.1	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	3.0	▲25.2	▲3.5	▲10.7	▲18.0	▲19.0	0.4	▲0.1
電気回路等の機器	▲6.9	▲11.4	▲13.1	▲11.9	▲16.2	▲13.1	3.5	▲0.5
輸送用機器	2.5	▲6.3	1.5	▲8.5	▲13.1	▲3.9	9.8	▲0.4
自動車	1.2	1.6	11.9	5.7	▲12.9	1.0	5.0	0.0
自動車の部分品	▲11.8	▲14.4	▲21.1	▲21.5	▲16.8	▲22.1	3.6	▲0.9
その他	▲1.1	▲12.8	▲7.6	▲6.2	▲8.6	▲8.5	15.4	▲1.3
科学光学機器	▲6.7	▲14.2	▲10.4	▲12.0	▲14.1	▲14.3	3.5	▲0.5

中国向け輸出金額 内訳								
	2019/04	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.3	▲9.7	▲10.1	▲9.3	▲12.1	▲6.7	100.0	▲6.7
食料品	▲8.2	▲0.3	24.8	42.3	41.5	28.0	0.9	0.2
原料品	▲13.7	▲29.2	▲28.1	▲52.9	▲43.5	▲45.2	1.4	▲1.1
鉱物性燃料	▲5.5	▲21.5	32.2	20.4	4.4	▲46.7	0.9	▲0.7
化学製品	11.0	▲0.0	▲3.5	5.7	▲5.7	4.3	17.2	0.7
原料別製品	▲7.4	▲10.4	▲18.2	▲4.5	▲11.6	▲4.5	11.1	▲0.5
鉄鋼	▲14.0	▲0.7	▲17.7	▲4.0	▲15.6	▲9.9	3.4	▲0.3
非鉄金属	▲9.2	▲17.1	▲30.0	▲1.8	▲10.7	10.9	2.8	0.3
金属製品	▲2.5	▲9.6	▲13.1	▲4.0	▲7.5	▲3.5	1.8	▲0.1
一般機械	▲17.3	▲17.1	▲17.8	▲17.8	▲20.2	▲18.0	20.6	▲4.2
電気機器	▲11.3	▲11.5	▲14.2	▲14.1	▲10.1	▲2.3	22.4	▲0.5
半導体等電子部品	▲21.5	▲3.4	▲21.3	▲19.0	▲4.6	19.3	7.7	1.2
I C	▲31.0	▲0.9	▲24.0	▲23.7	▲2.6	27.9	5.7	1.2
映像機器	▲31.7	▲35.7	▲29.4	▲26.9	▲24.7			
映像記録・再生機器	▲38.6	▲41.6	▲40.3	▲25.9	▲13.7	▲14.2	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	17.5	▲30.3	4.9	▲7.2	▲6.7	2.6	0.6	0.0
電気回路等の機器	▲10.1	▲16.1	▲18.3	▲14.2	▲20.8	▲10.3	3.8	▲0.4
輸送用機器	2.5	5.7	5.5	▲4.8	▲15.3	▲10.7	10.6	▲1.2
自動車	28.7	46.1	78.7	31.4	▲0.1	16.4	5.8	0.8
自動車の部分品	▲15.6	▲19.7	▲30.5	▲35.0	▲27.9	▲31.6	4.6	▲2.0
その他	▲0.4	▲8.7	2.6	▲6.1	▲4.6	4.4	14.9	0.6
科学光学機器	▲6.6	▲18.3	▲4.6	▲8.7	▲17.9	▲10.6	5.4	▲0.6

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成